

特集にあたって†

国分 正義*

1. はじめに

思えば、「長江のはじめの一滴・源流を見たい」から始まった本特集も第3報を発刊する事と相成った。2010年1月(Vol. 40, No. 1: 2010)に第1報, 続いて2011年10月(Vol. 41, No. 4: 2011)に第2報と、『品質管理 事始め(ルーツを探る)』が、読者諸氏の支持を得ている事はこの上ない喜びである。特筆すべきは「IAQ(International Academy for Quality)の会長である Mr. Gregory Watson 氏から、本特集の翻訳権を譲ってほしいとの要請も戴いたことである。品質管理を志す多くの方々への反響の大きさに驚くとともに、このような経緯から第3報の企画となった。

2. 特集の思いとその背景

この間、世の中は大きく変わった。山中伸弥教授のノーベル生理学・医学賞受賞から、科学技術の粋を集めた「はやぶさの帰還」まで、これらが多くの国民の心を捉えた。日本経済を取り巻く環境も激変である。

「今でしょう!」「倍返し」「じえじえじえ」も、もう過去のものとなり、移ろっていった。しかし、「変わる・移ろう」ものの対極に、「変わらぬ原点・源流」がある。本特集は、この「変わらぬ原点・源流」を辿り、そして、そこからその対極にある「今」を見つめ、品質管理の「これから・未来」へと繋いでいこうとの知的探求心を、本特集のエンジンとした。そして、「故きを温ね新しきを知らば、以て師と為るべし」

をコンセプトにした。

品質管理を構成する各要素の源流・原点(ルーツ)を探り、開発者・提唱者・導入者(ら)の熱き思いを拾い上げて、発展のプロセスを辿り、そこにはどのような意図があり、また苦労があったのか。伝えなかった事はなにか、さらに現在はどのように活用されているのかを見定めて、そこから将来の展望を予見したいとの熱き思いも後押しをした。この熱き思いが多くの執筆者の賛同を得た。

3. 本特集の特徴と構成

- (1) 原点(開発・提唱・誕生のその時、その背景)
- (2) 発展のプロセス(障害の打破と苦労話・秘話等)
- (3) 成長の要因と現状(今起こっていること)
- (4) 今後の展望(執筆者の熱き思いと後世への伝承)

原点(ルーツ)を探る事を主旨としているので、多くの紙面を、(1) 原点に置き、ここにこだわった。さらに、事実のみを積み上げることを第一義に客観性を執筆の基軸とした。本特集を未来志向で活用戴きたい。

◆構成要素(テーマ)	◆執筆者
① 日本の品質管理の歩みと信頼性保証の課題	真壁 肇 氏
② 工程能力調査	杉山哲郎 氏
③ TPM のルーツを探る	久保田洋志氏
④ エラー・ブーフ	中條武志 氏
⑤ 課題達成型 QC ストーリー	金子寿男 氏
⑥ 商品企画七つ道具	神田範明 氏
⑦ 食品衛生 7S の原点を探る	米虫節夫 氏
⑧ 品質管理海外展開こと始め	司馬正次 氏
⑨ 模擬体験による認識・創造・経営の教育	高橋武則 氏
⑩ 戦略的方針管理の研究と開発	長田 洋 氏

†平成 25 年 11 月 1 日 受付

*つくば品質総合研究所

連絡先: 〒 963-8851 福島県郡山市開成 4-21-11-610(自宅)